

④厚生年金加入者は「ア.被用者」に○を、国民年金加入者は「ウ.被用者等でない者」に○をご記入ください

児童手当 認定請求書

提出年月日

令和 6 年 ・ 9 月 ・ 1 日

記入例

(宛先) 鴻巣市長		このす たろう		②性別	男 ・ 女	③生年月日	昭和 平成 〇年 ・ 〇月 ・ 〇日	提出年月日 令和 6 年 ・ 9 月 ・ 1 日		※支給開始年月 令和 年 月 月分			
請求者	①(ふりがな)	鴻巣 太郎		④職業	ア.被用者 イ.公務員 ウ.被用者等でない者	⑤配偶者	有 ・ 無	※認定・却下年月日 令和 ・ ・		※支給開始年月 令和 年 月 月分			
	⑥住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒 365 - 8601 鴻巣市中央 1-1		電話 000 (0000) 0000		1月1日時点の住所 (1～5月分は前年、 6～12月分は本年)		(左欄と異なる場合に記入してください) 北本市本町1丁目11番地 ※1月1日時点の住所が現住所と同じ場合は記入不要					
	⑦個人番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		⑧請求者の加入している 公的年金制度の種別	ア.厚生年金保険 イ.国民年金 ウ.その他 () ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 () 私立学校教職員共済 () 国家公務員共済 () 地方公務員等共済		⑨所得 の状況	(請求者) 約 4,000,000 円 (配偶者) 約 3,000,000 円					
配偶者等	⑩(ふりがな)	このす はな		⑬生年月日	昭和 平成 〇年 ・ 〇月 ・ 〇日	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者 同一生計配偶者	⑮個人番号					
	⑪住所 (⑥と異なる場合)	〒 -		⑬職業	ア.被用者 イ.公務員 (勤務先:) ウ.被用者等でない者	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者 同一生計配偶者	⑮個人番号					
⑯児童の兄姉等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)	氏名	続柄	生 年 月 日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	[注意] ⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。 (⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。)				※算定対象の場合に○印	
	鴻巣 ひな子	子	平成 15・7・1	有 ・ 無	有 ・ 無	同 ・ 別	令和 年 月						
	鴻巣 ひな太郎	子	平成 17・8・1	有 ・ 無	有 ・ 無	同 ・ 別	令和 年 月						
⑰ 児 童	氏名	続柄	生 年 月 日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所 (別居の場合)	※児童との関係 該当する場合に○印	※第3子以降の場合に○印	※3歳未満の場合に○印	※左記以外の場合に○印	※手当月額
	鴻巣 ひなの	子	平成 20・10・1	有 ・ 無	同一・維持	同 ・ 別	令和 年 月		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
									・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
⑰ 児 童				監護とは、社会通念上必要とされる児童の監督、保護を行っているか（児童の面倒をみているか）という意味となります 「監護の有無が有」、「生計関係が同一」の場合で、児童と別居しているときには「別居監護の申立書」の提出が必要となります（市HPに様式あります）									
⑰平成18年4月2日以降に生まれた児童の情報をご記入ください													
⑱支払希望 金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額						
	〇〇 銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通・当座	0 0 0	鴻巣支店		コノノス タロウ	⑱請求者名義の口座をカタカナでご記入ください ※児童や配偶者の口座は指定できません						

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしよ）ではっきり書いてください。